

産業廃棄物焼却灰用フッ素不溶化剤

FLOCSITE FS-15

株式会社エコ・プロジェクト

1. はじめに

近年、産業廃棄物を焼却した際に発生する焼却灰を管理型処分場で埋め立てずに資源として再利用する事が検討されている。しかし焼却灰を再利用する場合、フッ素イオンの溶出量が厳しく制限される。このため焼却灰中のフッ素を不溶化する技術が求められている。

この度当社は廃プラスチック等を主体とした産業廃棄物の焼却灰を対象としたフッ素不溶化剤「FLOCSITE FS-15」を開発しました。

2. FLOCSITE FS-15 性状

「FLOCSITE FS-15」は白色状の粉体で、水を加えた対象灰と混ぜることで不溶化効果を発揮します。

表1 FLOCSITE FS-15 性状

外観	水分(%)	pH(/25℃)	BD(g/ml)	粒径(μm)
白色粉末	0.2	7.5	0.80	150

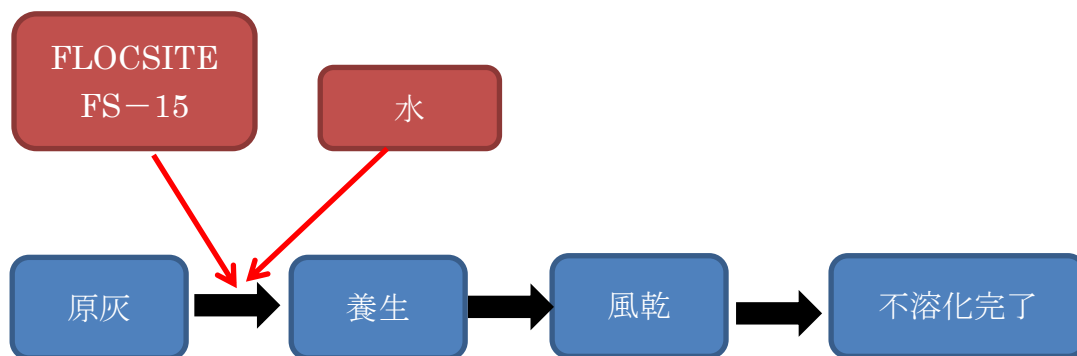


図1 FLOCSITE FS-15によるフッ素不溶化フロー

4. 不溶化試験例

[産業廃棄物焼却時に発生した焼却灰]

4-1. 溶出試験方法 : 環告 46 号付表 ; 環告 18 号溶出試験方法による

4-2. フッ素溶出試験結果

①原灰 F濃度 1.96 mg/L

FLOCSITE FS-15 添加率 5wt% →F濃度 0.51 mg/L

②原灰 F濃度 1.37 mg/L

FLOCSITE FS-15 添加率 5wt% →F濃度 0.67 mg/L

*フッ素イオン電極法による測定

以上